



令和3年12月1日

朝夕と日中の寒暖差で冬の到来を感じます。戸外散歩に出かけると公園内で保育者と一緒に追いかけてっこや寄り道をしながらの歩き散歩を喜んでいる子、自分が気に入った遊び（落ち葉拾いや砂遊び）を見つけて集中して遊び込んでいる子がいます。また、保育者につかまりながらつたい歩きをしたり両手を支えられながら歩行練習ををして笑顔を見せています。自由に移動できる楽しさを感じているようです。一人ひとり遊びの内容は違っていても「遊び」を通して「楽しい」「うれしい」ことを子どもたちは感じ取り、声や表情、指さしや仕草で伝えようとしています。保育者は子どもたち一人ひとりが自分の思い（楽しい、うれしい、嫌だ等々）を存分に発している子どもたちの気持ちを汲み取り、思いを受け止め丁寧に聞き取りやすい言葉で気持ちを代弁しながら言葉の獲得を目指して関わっていきます。今年も残り1か月。保育室の換気や手洗い、衣服の調節を引き続き行いながら体調管理には十分に気を付けていきたいと思います。また、ご家庭でもお子様には無理をさせずゆっくり休息を取るようお願い致します。



《ねらい》

- ・一人ひとりの健康状態に配慮しつつ、短い時間でも戸外に出て寒い季節を元気に過ごせるようにする。
- ・発語やしぐさから思いを受けとめてもらい、言葉のやりとりやふれあいを楽しむ。



自分でできるよ！

保育者が「お外行く？」と子ども達に伝えると嬉しそうに帽子を指差したり、帽子を渡すと自分で被ろうとしたり、「靴取ってきてね」「しまってきてね」の声掛けで靴の出し入れをやってみようとしています。少しずつ自分でやってみようという思いが見られてきています。自分でできた時には沢山誉めたり、やり方を丁寧に教えたり、自分でやろうという気持ちを大切にしていきたいと思います。

《衣服の着脱》

ズボンを自分で下げようとしたり、袖の穴を見つけて手を通したりと衣服の着脱に興味が出てきた子ども達。着替えやすいよう上下が分離している洋服や伸縮性のある柔らかい素材の物をご準備して頂けると助かります。

